

4 園から小学校への橋渡し

幼稚園
保育所
認定こども園



スムーズな移行支援

☆相談支援ファイルの活用

☆関係機関との連携・協働

☆保護者の思いに寄り添った相談支援



小学校

- 気付き 話し合い 支援
- 保護者への相談支援

- 早期からの情報交換
- 継続した支援

- 行動観察
(就学時健診・一日入学)
- 保護者への相談支援

相談支援ファイルで共有

- 小学校の生活は園での生活の上に成り立ちます。
- 子どもの現在の状態が正しく引き継がれ、スムーズに移行できるように整備することが必要です。
- 支援をどう進めるか速やかに関係者間で協議することが大切です。
- 子どもと保護者の思いに寄り添って支援していきます。

引き継ぎとスムーズな移行

- 園での教育や保育と小学校での教育の段差を低くし、小学校生活に移行していくことが大切です。
- 早い時期からいくつかの方法で小学校との連携が図られることが望めます。
(例えば、教室見学、教員・保育士間の連絡会、保護者の相談受け入れなどが考えられます。)
- 就学時健康診断や一日入学などの機会も上手に活用します。目指すはスムーズな移行です。
- 子どものよさを引き継ぐことはとても重要です。

就学時健康診断の機会を大切に

- 小学校の教員が全員関わっての健診であり、子どもの様子を知る大切な機会です。
- 健診の際、保護者の相談に応じる場を設けるなど、保護者の不安に寄り添う形で支えていきます。
- 健診を契機に園と学校との情報交換が進められます。
- 子どもへの支援と保護者への支援が、継続して確認・実施される体制を整えることが期待されます。

健康診断時の観察ポイント

- 医師を怖がらずに健診が受けられるか。
- 視力検査で指さしができるか。
- 聴力検査で指示がわかるか。
- 視線を合わせることができるか。
- 保護者から離れて健診が受けられるか。
- 受け応えは自然であるか。

発達検査時のポイント

- 席に座っていられるか。
- 順番を待てるか。
- 落ち着いているか。
- 指示がわかるか。
- 質問を多くしていないか。
- 勝手に発言をしていないか。
- 状況をつかめるか。
- 過度の緊張はないか。
- 鉛筆をうまく持てるか。
- ぼんやりとしていないか。
- そわそわとしていないか。

保護者への相談支援

- 教員や保育士は子育てに悩んでいる保護者に寄り添っていくことが大切です。
- 細やかな支援が必要なのは子どもだけではないことを十分踏まえ、保護者への相談支援を進めます。

- 保護者の悩みを受け止めて
- 保護者の状態を見極めて
- そこから一歩動ける情報伝達を
- 支援を受けることは特別なことではないと
気付けるように
- 本人(保護者)が自己選択できる情報提供を

